INFORMATION

公開日：令和6年
7月13日(土)、21日(日)
8月　3日(土)、4日(日)、9日(金)
10日(土)、11日(日)、18日(日)

投影開始時刻：1回目　午前10時30分～
2回目　午後　1時30分～
3回目　午後　3時00分～

観覧料：大人(高校生以上)　300円
中学生以下　無料
・入場券は投影開始30分前から発売します。
・投影開始後の入退場はできません。

定　員：各回100名(先着順)

＊公開日時、定員等は変更となる場合があります。
＊詳細は財団ウェブサイトhttps://www.regasu-shinjuku.or.jp/にてご確認ください。

プラネタリウム関連事業のご案内

プラネタリウムでは、
星空コンサートやイベントなど、特別プログラムを実施しております。
詳しくは、上記ウェブサイトをご覧ください。

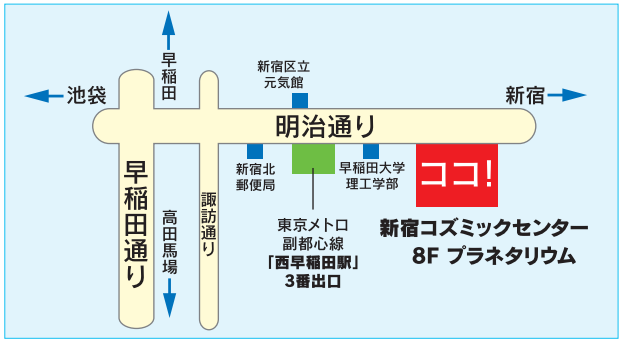
新宿コズミックセンター　プラネタリウム

新宿区大久保3-1-2　新宿コズミックセンター8F

●東京メトロ副都心線
「西早稲田駅」3番出口から
徒歩約3分

●JR/地下鉄東西線/西武新宿線
高田馬場駅から　徒歩約15分

●都バス
高田馬場駅から(高71)
新宿駅西口から(早77)
池袋駅・渋谷駅から(池86)
新宿コズミックセンター前
または早大理工前
下車徒歩約2分



【問合せ】公益財団法人 新宿未来創造財団　TEL 03-3232-7701

プラネタリウム夏番組のご案内　新番組

星空散歩～夏～

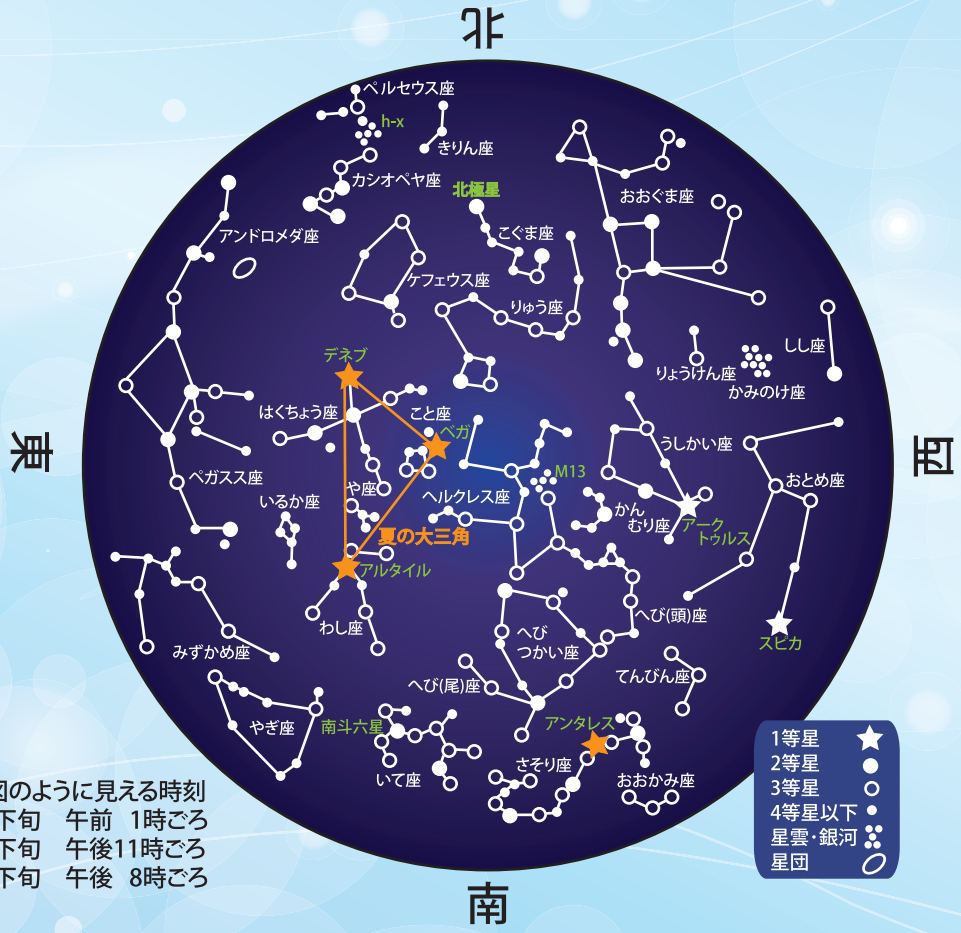
© 的川泰宣・大高郁子／ポプラ社／
宇宙のひみつがわかるえほん製作委員会

2024年7月～8月
新宿コズミックセンター プラネタリウム

星空散歩～夏～

夏の夜空には、七夕の織り姫星（こと座の「ベガ」）と彦星（わし座の「アルタイル」）が天の川の両岸に輝き、その南には赤く輝く1等星「アンタレス」をもつ、さそり座があります。「アンタレス」はさそりの心臓と言われ、さそり座を探すよい目印になります。

そのさそり座を、弓矢で狙っているのがいて座です。いて座が見える方向は、私たちが住む銀河系の中心部にあたります。いて座付近の天の川が濃い乳白色に見えるのは、無数の星が集まる銀河の中心部を見ているからです。



図のように見える時刻
5月下旬　午前　1時ごろ
6月下旬　午後11時ごろ
7月下旬　午後　8時ごろ

こと座の「ベガ」、わし座の「アルタイル」、はくちょう座の「デネブ」を結んでできる三角形を「夏の大三角」と言います。夏の星座は明るい星が多く、都内でも見つけやすいので、実際に夜空で探してみてはいかがでしょうか。

ヘルクレスの神話物語

一般的にはヘラクレスと呼ばれているギリシャ随一の勇者ヘルクレス。様々な活躍をする英雄ですが、生まれながらにして大変不幸な運命を背負っています。最後には星座にもなったヘルクレスは、逃れることのできない運命にどのように立ち向かっていったのでしょう。

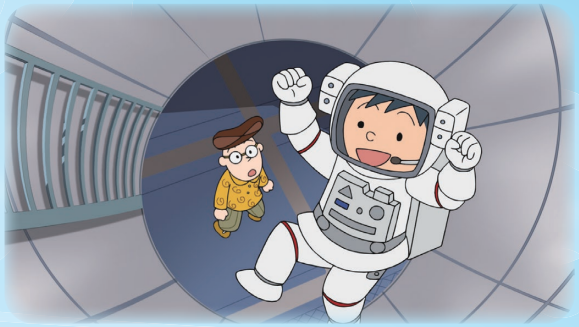
©五藤光学研究所

「宇宙のひみつがわかるえほん」

ポプラ社の科学絵本「宇宙のひみつがわかるえほん」のキャラクターたちが、アニメーションになってプラネタリウム番組に!

仲良し3人組のもっくん・そらちゃん・かいくんが、宇宙のことなら何でも知っているタコロス先生＆不思議なネコと一緒に、宇宙のひみつに迫ります。

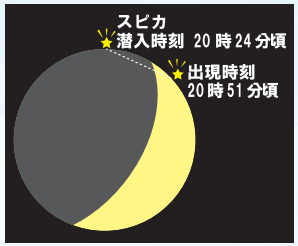
一緒に宇宙のひみつを解き明かそう!



© 的川泰宣・大高郁子／ポプラ社／宇宙のひみつがわかるえほん製作委員会

天文一口メモ

スピカ 月に隠れる



国立天文台では、太陰太陽暦（旧暦）の7月7日にあたる頃を「伝統的七夕」と呼ぶこととし、2001年から広くお知らせしているそうです。今年は8月10日が旧暦の7月7日。その日の夕刻、東北地方南部より南の広い地域で、おとめ座の1等星スピカが、月に隠れる「スピカ食」（星食）が起こります。上弦の月より少し細い月で、月齢は6.0。東京では、20時24分頃、暗くなった真上から潜入。20時51分頃、明るく尖った右肩のわきから出現してきます。南西の低い空で見ることができます。

（この現象は、次回12月25日の未明にも発現します。）